



田中 立一  
議員

## 質問 起業・創業支援について

人口が減少し、以前のような経済の右肩上がりが見込めない現在、国は、経済成長の発展に女性や若者の起業家が活躍できることが重要であり、その環境を整備しなければならないとしているが、糸魚川市の起業・創業支援について伺う。

昨年国から認定された「創業支援事業計画」の取組状況、1次産業の新規就業状況と製造・加工及び販売の創業についてどうか。

### ▼市長答弁

創業支援ネットワークによるワンストップ窓口を設置し、2月27日には創業者の掘り起しを目的に創業セミナーを開催したところである。1次産業の新規就業については、毎年数名の方が新たに従事されており、6次産業化については、米の直接販売や米菓の製造販売、わさびの加工・販売などがある。

## 質問

## 北陸新幹線糸魚川駅とえちごトキめき鉄道の利用状況と今後の利用促進策について

間もなく開業1年を迎える北陸新幹線の利用状況は、JR西日本によれば開業から今年1月末までに、乗客は前年のおよそ3倍に伸び、観光客の増加が大きな要因であると報道にあった。糸魚川駅の利用と経済波及効果は薄いとの声が多く聞かれることから、市の認識と対応について伺う。

また、同じく開業1年を迎えるえちごトキめき鉄道について、リゾート列車、イベント列車、サイクルトレイン※の運行予定についてどうか。

### ▼市長答弁

新幹線について、観光入込客数は市内全域で増加しているが、特に糸魚川駅周辺で大きく増加しており、今後も2次交通の整備が重要と考えている。

えちごトキめき鉄道のリゾート列車については4月23日から土日祝日に運転される予定であり、イベント列車については今年も春から運行する予定である。また、サイクルトレインについては、3月14日から18日まで実証社会実験を行う予定である。

### その他質問項目

- 北陸新幹線、高速道路、国道の騒音等環境問題について

つづが聞きたい！一般質問



大滝 豊  
議員

## 質問 幼保・小中学校再編計画の方針について

全国的に出生数が減少しており、当市においても園児や児童・生徒数が減少し、周辺部では保育園や小・中学校の小規模化が進んでいる。

このような状況を踏まえて、10年先・20年先に子どもたちがより良い環境の中で効果的な教育が受けられる幼保・小中学校の再編成が必要であると考えます。市としての基本的な考え方を伺う。

- (1)再編計画の方針の策定について
- (2)出生数と就学前及び小学校児童数の推移について
- (3)市内の保育園・幼稚園の現状と課題、今後の方向性について
- (4)市内の小学校・中学校の現状と課題、今後の方向性について

### ▼教育長答弁

- (1)今年度から始まった子育て支援の新制度を踏まえて、今後子ども・子育て会議等の意見を聴きながら最適な子育て環境について検討していく。また、小学校・中学校についても、今後策定する教育環境整備方針の中で、適正配置方針を定めていきたいと考えている。
- (2)出生数では、平成17年の305人に対し平成26年は273人と、32人少なくなっている。また、市内保育園・幼稚園の園児数では、平成17年度の1,433人に対し平成27年度は1,224人と、209人少なくなっており、小学校の児童数では、平成17年度の2,642人に対し平成27年度は2,032人と、610人少なくなっている。
- (3)3歳未満児の入園希望者が増えており、一部希望する園に入園できない状況も発生している。また、一部の民営保育園では、園児数の減少により運営に苦慮している現状もあり、適正な規模と地域性を考慮した配置が課題となっている。子ども・子育て会議を通じ、地域や保護者の声を反映した方針を策定していく。
- (4)複式学級の解消が課題であり、地域の合意を前提として、学校統合等による解消を進めていきたいと考えている。